

MENU

SEARCH

INDEX

DETAIL

JAPANESE

NEXT

1 / 2

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-000789

(43)Date of publication of application : 07.01.2003

(51)Int.Cl.

A63B 71/14  
A41D 19/00

(21)Application number : 2001-187954

(71)Applicant : SEO KATSUYA

(22)Date of filing : 21.06.2001

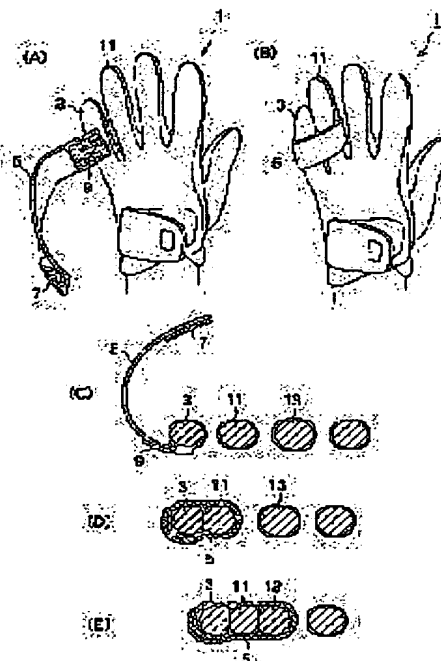
(72)Inventor : SEO KATSUYA

## (54) GRIP ASSISTING GLOVE AND ASSISTING BELT

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To continuously give a feeling of tightly gripping a golf club with the little finger, the third finger and the middle finger to assist not to loosen the grip when the golf club is swung and to make it possible to perform training for correct a swing form.

**SOLUTION:** One end of a belt 5 is fixed on a part of e.g. the little finger 3 of a golf glove 1 and a male part 7 or a female part of a touch and close fastener (R) is provided on this one end part and the female part 9 or the male part of the Magic tape is provided on the other end of the belt. In addition, this belt may not be integrated with the glove. The belt is wound on e.g. the little finger and the third finger and is tightened with the fastener.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-789

(P2003-789A)

(43) 公開日 平成15年1月7日 (2003.1.7)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

テマコード (参考)

A 6 3 B 71/14

A 6 3 B 71/14

A 3 B 0 3 3

A 4 1 D 19/00

A 4 1 D 19/00

D

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-187954 (P2001-187954)

(22) 出願日 平成13年6月21日 (2001.6.21)

(71) 出願人 301014498

瀬尾 克也

兵庫県神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2番19  
号ヴィスタニ宮504

(72) 発明者 瀬尾 克也

千葉県市川市欠真間2丁目24番8 ベルメ  
ゾン302

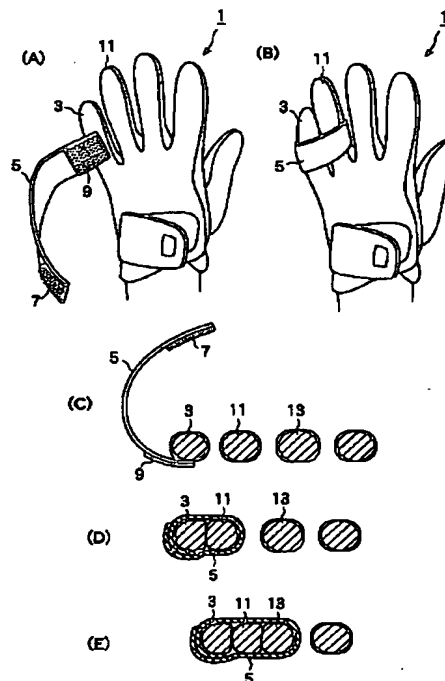
Fターム (参考) 3B033 AA19 AB02 AB08 AB09 AC05

(54) 【発明の名称】 グリップ補助手袋および補助ベルト

(57) 【要約】

【課題】 ゴルフクラブをスイングする際に、小指3と薬指11、中指13などをしっかりと握った感覚を与え続けてグリップが緩まないように補助し、ひいてはスイングフォームの矯正トレーニングを可能にする。

【解決手段】 ゴルフ用の手袋1の例えば小指3の部分にベルト5の一端を固着し、この一端部にマジックテープ（登録商標）の雄部7または雌部を設け、ベルトの他端にマジックテープの雌部9または雄部を設ける。また、このベルトは、手袋とは別体としてもよい。ベルトを、例えば小指と薬指に巻きつけ、マジックテープで締結する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】ゴルフ用の手袋に、小指と薬指、あるいは小指と薬指と中指を縛るためのベルトを設けたことを特徴とするグリップ補助手袋。

【請求項2】前記ベルトは、一端が小指、薬指、または中指の部分に固着され、前記一端または他端に締結手段が設けられたことを特徴とする請求項1に記載のグリップ補助手袋。

【請求項3】前記締結手段は、前記ベルトの一端に設けられたマジックテープの雄部または雌部、および前記ベルトの他端に設けられたマジックテープの雌部または雄部であることを特徴とする請求項2に記載のグリップ補助手袋。

【請求項4】前記締結手段は、前記ベルトの一端に設けられ前記ベルトの他端が折り返されて締結される金属製またはプラスチック製の締結具であることを特徴とする請求項3に記載のグリップ補助手袋。

【請求項5】ゴルフ用の手袋に、小指と薬指、あるいは小指と薬指と中指を縛るため、各指の対向する部分にマジックテープの雌部と雄部を設けたことを特徴とするグリップ補助手袋。

【請求項6】ゴルフ用の手袋の上から使用され、小指と薬指、あるいは小指と薬指と中指を縛るためのベルトであって、一端または他端に締結手段が設けられたことを特徴とするグリップ補助ベルト。

【請求項7】前記締結手段は、前記ベルトの一端に小指、薬指、または中指が入られるように湾曲させ先端を固定して形成されたループ部分と、このループ部に設けられたマジックテープの雄部または雌部と、前記ベルトの他端に設けられたマジックテープの雌部または雄部であることを特徴とする請求項6に記載のグリップ補助ベルト。

【請求項8】前記締結手段は、前記ベルトの一端に設けられ前記ベルトの他端が折り返される金属製またはプラスチック製の締結具と、折り返され接触する部分に設けられたマジックテープの雌部および雄部であることを特徴とする請求項6に記載のグリップ補助手袋。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、ゴルフクラブをスイングする際に、グリップが緩まないように補助し、ひいてはスイングフォームの矯正トレーニングに寄与できるグリップ補助手袋および補助ベルトに関する。

## 【0002】

【従来の技術】ゴルフのプレーでクラブをスイングし、ボールの飛距離を伸ばし真っ直ぐに飛ばす理想的なフォームのためには、クラブを握ったグリップが緩まないようにしなければならない。そして、緩まないためには、小指と薬指、中指などをしっかりと握る必要があることは、ゴルフプレーの解説で一般的に言われているポイン

トである。しかし、理想的なフォームのために実現しなければならないポイントは、たくさんあり、一振りのスイングの最中にすべてを実現することはなかなか困難である。たくさんのポイントのうちいくつかは守れても、他は守れないということが続いてしまう。小指と薬指、中指などをしっかりと握るというポイントも、コーチからスイングの最中に声をかけてもらったりすると、比較的守りやすい。しかし、声を聞いて理解してその指に力を入れるまでには時間がかかり、間に合わないこともしばしばである。スイングの最中に、小指に触ってもらったりできれば、守りやすいが、固くて重いクラブを振り回すこともあり、危険で実現できない。このため従来は、くり返してスイングの練習をし、スイングの後で、小指と薬指、中指などをしっかりと握るというポイントを守っていたかどうか思い出して反省し、守れていなければ次のスイングで再び同じことをくり返すしかなかった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述したように、理想的なフォームのために実現しなければならないポイントはたくさんあり、一振りのスイングの最中にすべてを実現することはなかなか困難で、小指と薬指、中指などをしっかりと握るべきであるということも、すぐに忘れてしまう。また、しっかりと握るという感覚をいつも覚えているということは難しく、すぐに無意識になってグリップが緩んでしまうものであった。

【0004】この発明は、以上の課題を解決するためになされたもので、ゴルフクラブをスイングする際に、小指と薬指、中指などをしっかりと握った感覚を与え続けてグリップが緩まないように補助し、ひいてはスイングフォームの矯正トレーニングに寄与できるグリップ補助手袋および補助ベルトを提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】以上の課題を解決するために、第1の発明は、ゴルフ用の手袋に、小指と薬指、あるいは小指と薬指と中指を縛るためのベルトを設けたことを特徴とするグリップ補助手袋である。

【0006】第2の発明は、更に、前記ベルトは、一端が小指、薬指、または中指の部分に固着され、前記一端または他端に締結手段が設けられたことを特徴とするグリップ補助手袋である。

【0007】第3の発明は、更に、前記締結手段は、前記ベルトの一端に設けられたマジックテープの雄部または雌部、および前記ベルトの他端に設けられたマジックテープの雌部または雄部であることを特徴とするグリップ補助手袋である。

【0008】第4の発明は、更に、前記締結手段は、前記ベルトの一端に設けられ前記ベルトの他端が折り返されて締結される金属製またはプラスチック製の締結具であることを特徴とするグリップ補助手袋である。

【0009】第5の発明は、ゴルフ用の手袋に、小指と薬指、あるいは小指と薬指と中指を縛るため、各指の対向する部分にマジックテープの雌部と雄部を設けたことを特徴とするグリップ補助手袋である。

【0010】第6の発明は、ゴルフ用の手袋の上から使用され、小指と薬指、あるいは小指と薬指と中指を縛るためのベルトであって、一端または他端に締結手段が設けられたことを特徴とするグリップ補助ベルトである。

【0011】第7の発明は、更に、前記締結手段は、前記ベルトの一端に小指、薬指、または中指が入れられるように湾曲させ先端を固定して形成されたループ部分と、このループ部に設けられたマジックテープの雄部または雌部と、前記ベルトの他端に設けられたマジックテープの雌部または雄部であることを特徴とするグリップ補助ベルトである。

【0012】第8の発明は、更に、前記締結手段は、前記ベルトの一端に設けられ前記ベルトの他端が折り返される金属製またはプラスチック製の締結具と、折り返され接触する部分に設けられたマジックテープの雌部および雄部であることを特徴とするグリップ補助手袋である。

#### 【0013】

【発明の実施の形態】この発明の第一実施形態を、図1に示す。同図(A)に示すように、この実施形態のグリップ補助手袋1は、小指3の部分の表面であって、手の甲側において、ベルト5が設けられている。このベルト5は一端が、小指3の部分に縫いつけ、あるいは接着などの手段で固着され、さらにマジックテープの雌部9が設けられる。ベルト5の他端には、マジックテープの雄部7が設けられる。これらの雄部7と雌部9は、ベルト5を例えば小指3と薬指11に巻きつけたときに、互いに対向して接触するように、ベルト5の反対側の面に設けられる。

【0014】(使い方) 同図は、右利きの人が使用する手袋である。つまり、ゴルフクラブを握る利き手(この場合は右手)と反対側の手(この場合は左手)に、この実施形態の手袋1をはめる。そして、同図(A)の上から見た同図(C)において、ベルト5を時計回り方向に、例えば小指3と薬指11に巻きつける。そして、マジックテープの雄部7を雌部9に強く接触させて、締結する(同図(B)(D))。これにより、小指3と薬指11が縛られることになる。

【0015】(実施形態の効果) 小指3と薬指11をしっかり縛ることができるので、スイングの最中に、グリップをしっかり握るべきであるということを、ベルト5の触覚により覚えておくことができる。また、しっかり握ったときの感覚をいつも味わうことができる。これらにより、すぐに無意識になってグリップが緩んでしまうのを避けられる。

【0016】このために、コーチからスイングの最中に

声をかけてもらったりする必要がない。のみならず、声を聞いて理解してその指に力を入れるまでにかかる時間に比べ、ベルト5の触覚により直接的な理解が得られる。

【0017】これにより、グリップをしっかり握る習慣が容易に身に付き、ボールへの強いインパクトが得られ、ボールの飛距離を伸ばし、さらには真っ直ぐに飛ばす理想的なフォームが可能になる。

【0018】(他の実施形態) 以上の実施形態においては、縛るのは小指3と薬指11の2本であったが、他の実施形態では、小指3、薬指11、中指13の3本を縛るもの(同図(D))であってもよい。この場合、はじめからベルト5を長めにし、マジックテープの雄部7と雌部9も長めにし、2本でも3本でも選択的に縛ることを可能にできる。

【0019】また、以上の実施形態においては、ベルト5は一端が手袋1に固着されるものであったが、第2実施形態の図2に示すように、手袋1に着脱可能にすることもできる。すなわち、例えば手袋1の小指3、薬指11、中指13の背側にベルトを通すベルト通し15を形成し(同図(A))てもよい。着脱可能にすることで、使用しないときにはベルト5が邪魔にならずに済む。

【0020】また、以上の実施形態においては、締結手段は、マジックテープであったが、この第2実施形態のように、ベルト5の一端に設けられベルト5の他端が折り返されて締結される金属製またはプラスチック製の締結具17であってもよい(同図(A))。

【0021】この第2実施形態においては、ベルト5の他端を小指3の外側から小指のベルト通し15、薬指11のベルト通し15、中指13のベルト通し15の順に通し、指の腹側を回って、小指3の外側において、締結具17に通し折り返して、締結する(同図(B))。

【0022】また、以上の実施形態においては、手袋1にベルト5を設けて指を縛るものであったが、他の実施形態においては、マジックテープを直接に指の部分に設けて縛るものであってもよい。すなわち、第3実施形態を示す例えば図3のように、手袋の小指3、薬指11、中指13の対向する部分にマジックテープの雌部9と雄部7を設ける。縛る必要があるショットの際には、小指3、薬指11、中指13を強くくっつけあって、マジックテープを機能させ締結をおこなわせる。これにより、その他の実施形態のようにベルトが邪魔にならずに済む。

【0023】また、以上の実施形態においては、手袋1にベルト5を設けて指を縛るものであったが、他の実施形態においては、手袋1とは別体のベルト5によって指を縛るものとしてもよい。別体にとすることで、安価に供給できる。

【0024】例えば、第4実施形態の図4に示すように、ゴルフ用の手袋1の上からベルト5を使用する。こ

のベルト5には、一端に小指3、薬指11、または中指13が入られるように湾曲させ先端を固定したループ部分19が形成される(同図(C))。このループ部19にはマジックテープの雌部9が設けられる。ベルト5の他端には、マジックテープの雄部7が設けられる。これらの雄部7と雌部9は、ベルト5を例えば小指3と薬指11に巻きつけたときに、互に対向して接触するように、ベルト5の反対側の面に設けられる。

【0025】使用する際には、ループ部分19に例えば薬指11を入れ(同図(A))、指先から見てベルト5を例えば時計回り方向に、小指と薬指に巻きつける。そして、マジックテープの雄部7を雌部9に強く接触させて、締結する(同図(B、D))。これにより、小指3と薬指11が縛られることになる。

【0026】また、別体にのベルト5にする場合に、図5に示すように、ループ部分を設けないことも可能である。

【0027】また、この場合には、締結をマジックテープのみでおこなうことも可能であるが、同図に示すように、金属製またはプラスチック製の締結具21を併用する(同図(B)(C))ことで、締結力を強化できる。つまり、ベルト5の一端に締結具21を設け、ベルト5の他端が折り返されるようにする。折り返され接触する部分には、マジックテープの雌部9および雄部7を設ける。これら雌部9と雄部7は、折り返しがおこなわれる部分をはさんで、ベルト5の同じ側に設けられる(同図(B))。折り返しがおこなわれる部分23は、小指3と薬指11(同図(A))のみならず、選択的に更に中指13も縛れるように、長めに形成される。

【0028】なお、以上の各実施形態において、同一あるいは類似する部分については同一の符号を付した。

【0029】

【発明の効果】以上説明したように、第1、第2、第3、第4、第5、第6、第7または第8の発明によれば、ゴルフクラブをスイングする際に、ベルトで小指と薬指、中指などをしっかりと縛ることで、スイングの最中にしっかりと握るべきであるということを覚えていことができ、また、しっかりと握ったときの感覚をいつも味わうことができ、すぐに無意識になってグリップが緩んでしまうのを避けられる。これにより、スイングフォームの矯正トレーニングに寄与できる。

【0030】また、第1、第2、第3、または第4の発明によれば、手袋にベルトが設けられることから、手袋をすればベルトで容易に指を縛ることができる。

【0031】また、第2、第3、または第4の発明によ

れば、締結手段により、指を容易にしっかりと縛ることができる。

【0032】また、第3、または第4の発明によれば、締結手段をマジックテープとすることにより、ワンタッチで指を容易にしっかりと縛ることができる。

【0033】また、第5の発明によれば、手袋にベルトを設けず直接にマジックテープを設けることで、シンプルで、ベルトが邪魔にならずに済む。

【0034】また、第6、第7、第8の発明によれば、手袋とは別体のベルトの締結手段で安価に容易に指を縛ることができる。

【0035】また、第7、第8の発明によれば、締結手段をマジックテープとすることにより、ワンタッチで指を容易にしっかりと縛ることができる。

【0036】

【図面の簡単な説明】

【図1】(A)この発明の第1実施形態を示す図

(B)(A)の作用を示す図

(C)(A)の要部断面図

(D)(B)の要部断面図

(E)(D)の変形例を示す図である。

【図2】(A)この発明の第2実施形態を示す図

(B)(A)の要部拡大図である。

【図3】(A)この発明の第3実施形態を示す図

(B)(A)の要部断面図である。

【図4】(A)この発明の第4実施形態を示す図

(B)(A)の作用を示す図

(C)(A)のベルトのみを拡大する図

(D)(B)の要部断面図である。

【図5】(A)この発明の第5実施形態を示す図

(B)(A)のベルトのみを拡大する図

(C)(A)の要部断面図である。

【符号の説明】

1 手袋

3 小指

5 ベルト

7 マジックテープの雄部

9 マジックテープの雌部

11 薬指

13 中指

15 ベルト通し

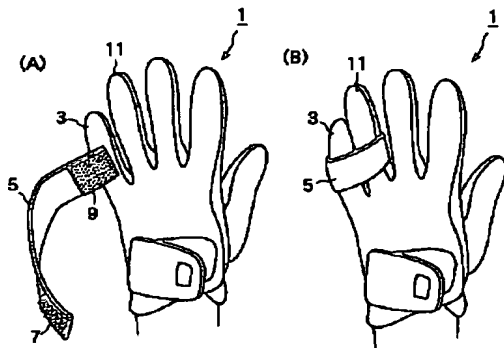
17 締結具

19 ループ部分

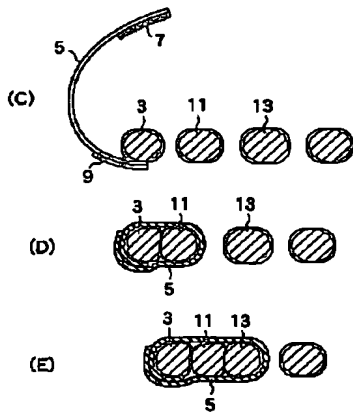
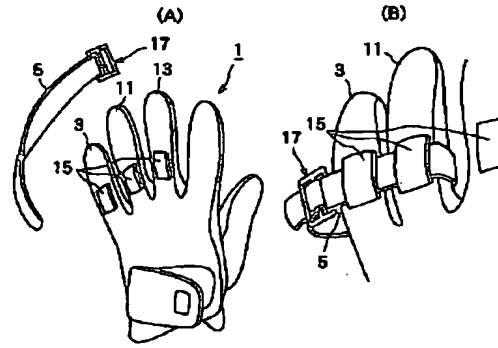
21 締結具

23 折り返しがおこなわれる部分

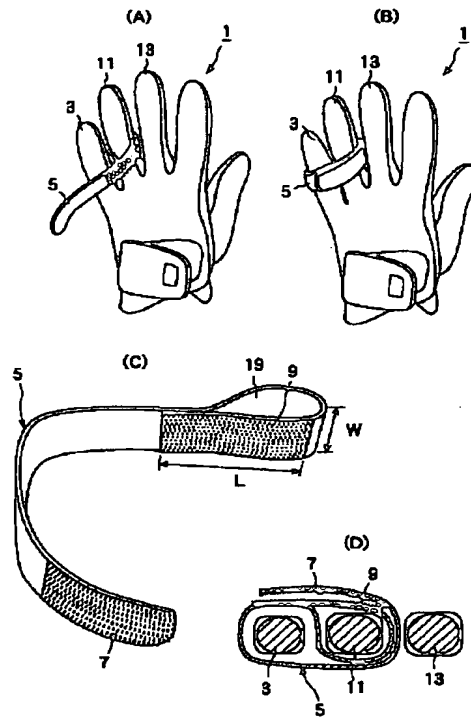
【図1】



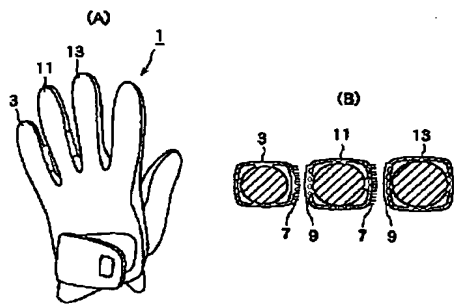
【図2】



【図4】



【図3】



【図5】

